

1. 件 名：日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和5年11月14日 10:00～11:35

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、嶋崎防災専門官、蔦澤専門職、武長専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

新型転換炉ふげん 安全・品質保証部 次長 他6名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構（以下、「機構」という。）から、令和5年10月17日に実施した機構新型転換炉原型炉ふげんにおける原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内評価結果も踏まえまとめた資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下の指摘を踏まえて、今後の原子力防災対策に向けた改善点を検討した上で原子力規制庁の確認のうえ、防災訓練実施結果報告書の検討を行うよう、機構に伝えた。

- ・ 今回の訓練を通じて顕在化した課題（パンチリスト等）を原因究明分析して防災体制の品質向上に反映するプロセスについて説明がないので対応を行うこと。
- ・ 基本的な技術的事項の伝達ミスがあったのは重要課題としてしっかりと原因究明が必要である。
- ・ 通報文とリエゾン宛て資料をERCの同じFAX宛てに送信していたが、ERCの担当者にその旨の説明がなかったために混乱が生じる恐れがあった。FAXの通報確認のあり方につき、機構内で整理が必要であること

機構から、本日のコメントについて、原子力規制庁に回答を行ったうえで、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料

資料 1 : 令和 5 年度 新型転換炉原型炉ふげん総合防災訓練における課題対応について（「課題と対策」）
（日本原子力研究開発機構新型転換炉ふげん）